

# AIシステム会計

AIが拓く、誰もが使える新しい会計



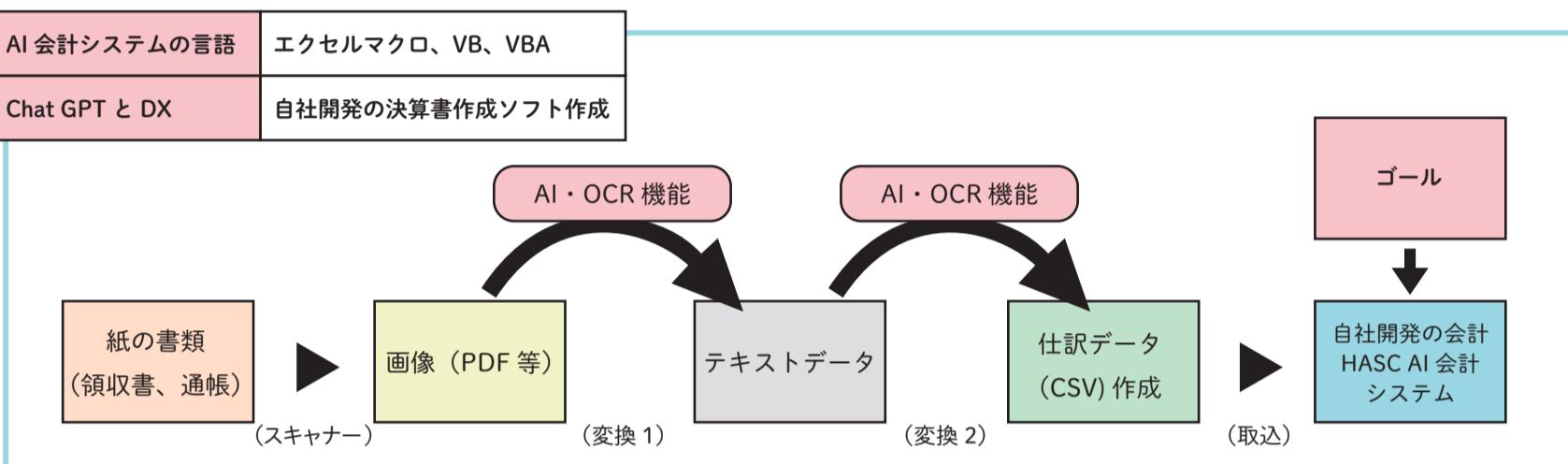
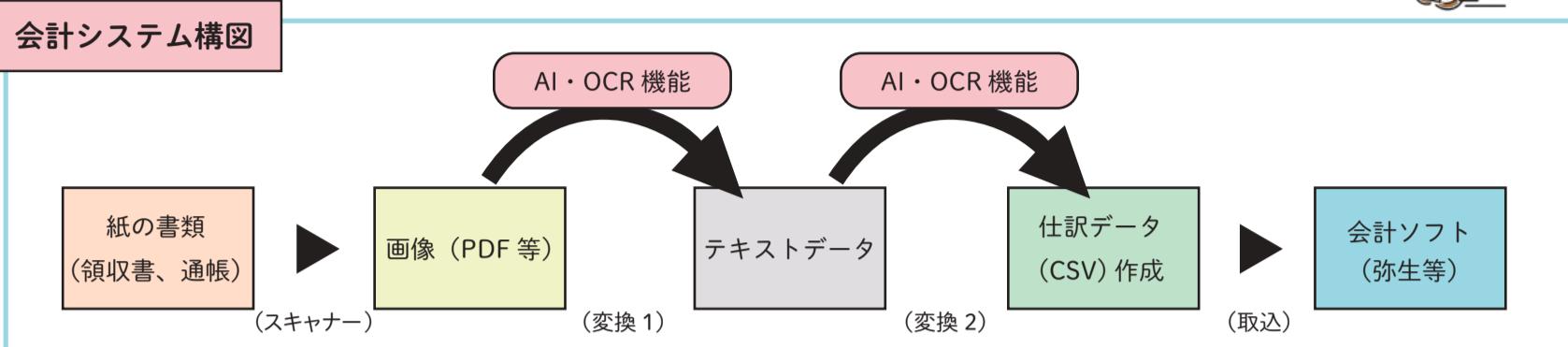
2025.12月おお詰〇〇

そ  
う  
む  
ぶ  
た  
よ

こ  
ち  
ち  
ら  
総  
務  
部  
便  
り



## 会計システム構図



今年の1月の書初め『(AI式会計組織(帳簿組織)のノウハウ化)の設計図をなんとか産みたい。』⇒誕生日、2025年12月24日とします。

四ヶ所十郎

Vol. 68

2025  
師走号

## 埋蔵金と税金の不思議な関係?



「プリンセス天功が日本全国6カ所に埋蔵金を隠した」——そんなニュースがテレビで流れる  
と、誰もが一度は胸を躍らせます。推定総額10億円以上とも言われるその財宝。まるで現代版の徳川埋蔵金です。

しかし、夢のような話も冷静に考えると現実の壁にぶつかります。そう、税金です。

### 相続財産になるのか?

持ち主がはっきりしている場合、埋蔵金は当然ながら相続財産になります。天功が「自分の財産を埋めた」と公言している以上、発見されれば立派な遺産。本人が亡くなった後に掘り当たられれば、相続税の対象となり、遺産分割の議題に上がることになります。

ただし、存在が確認されなければ財産とは認められません。言葉だけでは「伝説」として引き継がれるだけ。夢と現実の境界線は意外とシビアです。

### 贈与税の可能性

もし天功が生存中に「埋蔵金をあなたにあげます」と譲渡したらどうでしょう。  
これは贈与税の対象になります。しかも贈与税は相続税より税率が高いことが多く、課税負担はむしろ重くなる可能性があります。  
宝探しのロマンも、税務署の前では少し色あせてしまうかもしれません。

### 仮に、持ち主不明の場合は国庫へ

一方で、歴史的な埋蔵金など持ち主不明の財宝は「遺失物」として扱われ、最終的には国庫に帰属します。発見者は法律に基づき、5~20%程度の報労金(「一時所得」として所得税の対象)を受け取れる可能性がありますが、贈与税や相続税の対象にはなりません。  
つまり「夢の一攫千金」ではなく「ちょっとした臨時収入」に落ち着くわけです。

### まとめ

埋蔵金はロマンと現実の狭間にあります。  
見つければ税金の対象、見つかなければ伝説のまま。  
夢を追う人々の心を躍らせる一方で、税務署は冷静にその価値を計算するでしょう。  
結局のところ、埋蔵金探しは「宝を掘り当てるか」「税金に掘り当てるか」の二択なのかもしれません。



辻 直英



早いもので2025年がもう終わろうとしています。

いや、早すぎです。(ここ最近毎年言っているようだ。)

年齢とともに時間が経つのが早く感じるって本当ですね。実感しかありません。  
今年の初めに「これだけは絶対やろう」と決めていたこと、どれだけ覚えてるか見返してみたら……半分くらいは忘れていて笑いました。

できたこともあるけど、できなかったことも多々ある。反省。  
でも、まあ、ちゃんと自分自身を労ってあげようと思います。



### 『人は悲しいぐらい忘れていく生き物』

この歌詞、年末になると毎年刺さります。  
なんでこんなにも忘れてしまうんでしょう。  
絶対にやると誓った決意さえ、時間とともに薄れしていく。

忘れちゃいかん! 忘れたくないことは、ちゃんと形に残さないとダメだなって、毎年思うのに。  
毎年同じことを繰り返してます。

もう少しだけ「忘れない工夫」をしてみようと、自戒の念を持つつ、2026年の準備を始めたところです。

2025年、ありがとう。

四ヶ所 直樹



## 新たに登場した

**「特定親族」:令和7年度税制改正**

皆様、確定申告や年末調整の時期に、「扶養控除」と「特定扶養親族」という言葉を目にされる機会が多いかと思います。

令和7年度の税制改正によって「特定親族特別控除」という制度の対象となる「**特定親族**」がこれまでの「特定扶養親族」と異なって新設されました。

これら二つの親族に関する制度の違いについてご説明いたします。

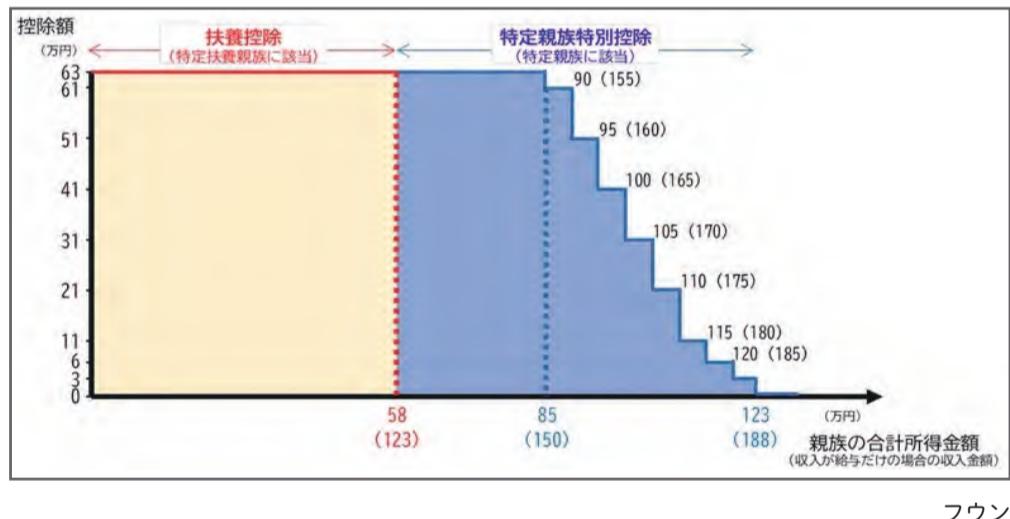
## 制度の概要と対象者の違い

項目	特定扶養親族（従来）	特定親族（新設）
制度名	扶養控除 (特定扶養親族控除)	特定親族特別控除
制度の創設時期	従来からある制度	令和7年度税制改正で新設 (2025年分以降適用)
対象親族の年齢	19歳以上 23歳未満	19歳以上 23歳未満
合計所得金額 要件	58万円以下 (給与年収 123万円以下)	58万円超 <b>123万円</b> 以下 (給与年収 123万円超 188万円以下)
控除額	一律 63万円	特定親族の所得に応じて <b>段階的に</b> 設定（最大 63万円）

今回の税制改正は、ご家庭の税負担と、お子様の働き方に大きな影響を与える可能性があります。

これまで「103万円の壁」を意識してアルバイトを調整していたご家庭も、今後は年収**123万円～188万円**までを視野に入れた働き方を検討できるようになります。

「参考：居住者が生計を一にする年齢 19歳以上 23歳未満の親族を有する場合に受けられる控除」



フウン

**年末調整**

12月に入り、年末調整の時期が本格化しました。従業員の皆様は、生命保険料や地震保険料などの各種控除証明書を準備頂く時期です。

書類の提出遅れや記入ミスを防ぐため、配偶者や扶養親族の所得金額なども含め早めの確認、準備をお願いいたします。

国の取り組みでは、年末調整の手間を減らすため、マイナポータルと各種金融機関（保険会社、年金機構など）の連携を推進しています。

この連携を設定すれば、**控除証明書のデータ（xml ファイル）**をマイナポータルから一括で取得できます。

取得したデータは、各種給与計算ソフト等に取り込むだけで控除額が自動計算されるため、手書き、手計算によるミスが0になります。

一度連携を済ませてしまえば、紙の証明書を保管、提出する手間がなくなり、紛失リスクも解消されます。

このような便利な電子化の仕組みを積極的に活用し、経理業務の負担軽減を目指しましょう。

富松

**～VUCA（ブーカ）時代～**

VUCAとは、現代の経営環境が抱える「予測困難さ」を表す用語で、Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の頭文字を組み合わせたものです。

<b>Volatility</b> （変動性）	テクノロジーの急速な進化、社会情勢の変化、消費者ニーズの多様化など 短期間で状況がめまぐるしく変化する状態
<b>Uncertainty</b> （不確実性）	過去の延長線上で予測できない出来事が起こり、将来を見通しにくい状態 【例】コロナ禍、国際情勢の緊張等
<b>Complexity</b> （複雑性）	複数の要因が絡み合い、問題の因果関係が見えにくい状況 【例】グローバル化、サプライチェーンの複雑化
<b>Ambiguity</b> （曖昧性）	正解が一つでない、またはどの情報が正しいか判断しにくい状況

VUCAが注目される背景には、グローバル化の加速やAI・DXに代表されるテクノロジーの急速な進化、さらに感染症の流行や気候変動などの予測困難な社会変動があります。こうした急激な変化のなかで会社や個人が生き残るためにには、状況に応じて柔軟に対応する力がこれまで以上に重要とされています。

また、労働人口の減少に伴い、労働生産性を確保するためにもAI・DXを推進は不可欠です。しかし一方で、最近大きく報道された事例のように、サイバー攻撃によって生産ラインが停止するケースも発生しており、デジタル依存のリスクが顕在化しています。

そのため、DXを推進しつつも、アナログ手段や手作業による代替手段を併存させるハイブリッド方式の重要性が高まっています。デジタルとアナログを適切に組み合わせることで、DXの効果を最大化しながら、リスク発生時の事業継続性を確保できると考えられます。

前回

**\* \* \* ~ Well-being ~ \* \* \***  
(ウェルビーイング)

この前、長女が読んでいた本を見て、「ウェルビーイングって何？」と思って、得意のChatGPTに聞いてみました。

\*ウェルビーイングとは、「心も体も社会的にも良い状態でいられること」をあらわす言葉です。単に「病気ではない」「困っていない」というだけでなく、幸福感・満足感・生きがい・人間関係の良さ・安心し暮らせる環境など幅広い面で“自分らしく心地よく生きられてる状態”を指します。

「ウェルビーイング」には、「主観的ウェルビーイング」と「客観的ウェルビーイング」があり「主観的ウェルビーイング」とは一人ひとりが自分自身で感じる認識や感覚「人生への幸福感や満足感」「うれしい、楽しいなどの感情」、一方で「客観的ウェルビーイング」とは、平均寿命や生涯賃金、失業率、GDP(国内総生産)、大学進学率、労働時間や有給取得率、保育所待機児童数、育児休業取得者数など統計データで測れるものです。

これらの統計データは、国別や県別などウェルビーイングの充実度を比較するときに利用されることがあります。(以上 ChatGPT より)

経済的な豊かさが幸せとは限らず、心の豊かさや幸せを重視する社会が望ましいとの価値観が広がり、「主観的ウェルビーイング」が重視されてるようです。

最近は、教育現場でもよく使われる概念で、この本は、娘が、先月教育実習を行った学校の担当の先生から、「読んでみて」と薦められたそうです。

副題が「子供が毎日行きたい、先生が働きたいと思える学校へ」となっています。教育現場も大変そうですね。

最近、何で見たか記憶が定かではないのですが、(最近、すぐ忘れます(涙)) 新卒の入社後3年内の離職率の統計は大学卒、高校卒共に約35%から40%の間で驚いたのを覚えてます。この本は教育現場ですが、「私たちが毎日行きたい、私たちが働きたいと思える会社へ」と言い換えることができますね。

ウェルビーイングな会社をつくりましょう。

\*\*\* ~北原~ \*\*\*

本年は、格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

2025年12月29日(月)より2026年1月4日(日)まで年末年始休業とさせて頂きます。

ご繁忙の折、何かとご不便をお掛けすることと思いますが、

何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。



**【デジタル版だと文字の大きさも自由自在!】**  
こちら総務部便りデジタル版を配信ご希望の方は  
コチラの登録フォームからどうぞ! >>>>>

